

気候変動リスク情報創生プログラム
第2回公開シンポジウム

開催にあたって

プログラムディレクター

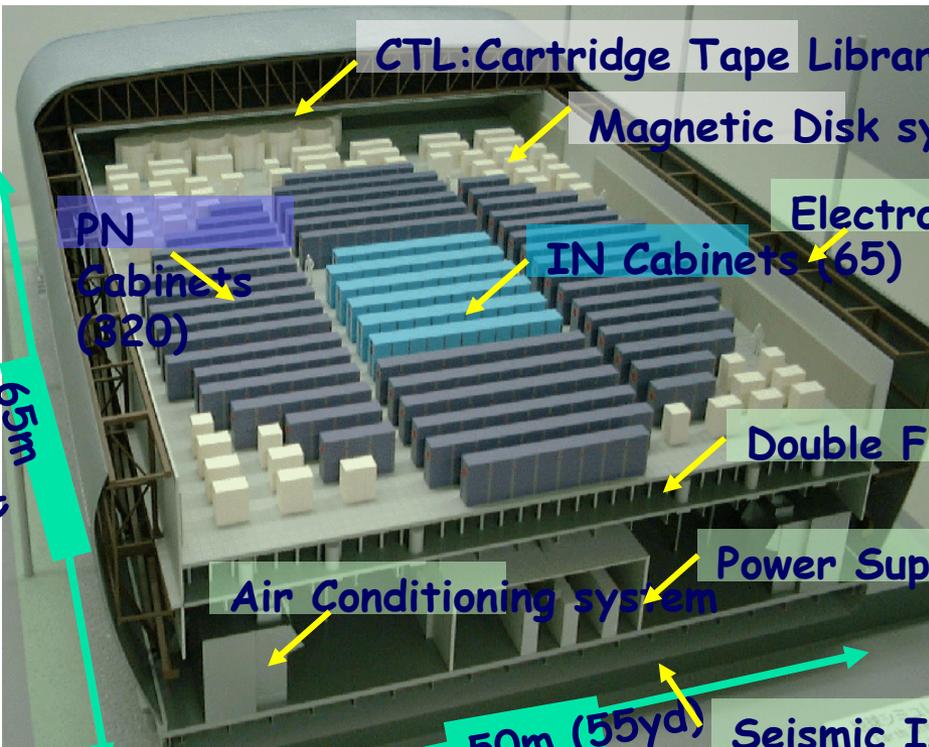
住 明正

国立環境研究所

理事長

経緯(1)

- 地球シミュレータとともに(1998年から)
- 地球温暖化予測をより信頼できるものに



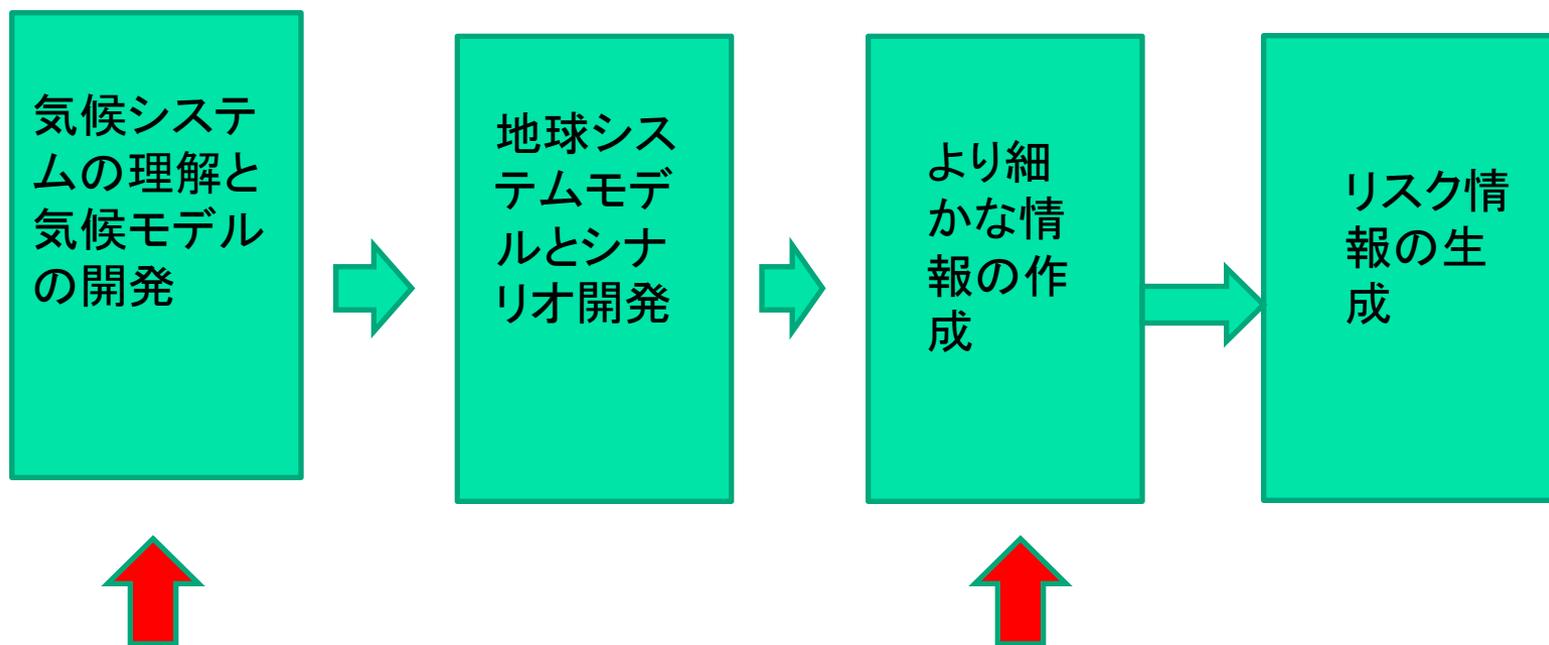


経緯(2)

- 2002年度—2006年度
 - 人・自然・地球共生プロジェクト
 - 高分解能気候モデルの開発
- 2007年度—2011年度
 - 21世紀気候変動予測革新プログラム
 - 気候変動予測の高度化

経緯(3)

- 2012年度—2016年度
 - 気候変動リスク情報創生プログラム



異常気象の多発は、地球温暖化のせい？

温暖化暴れる天気

経験のない大雨「続発」

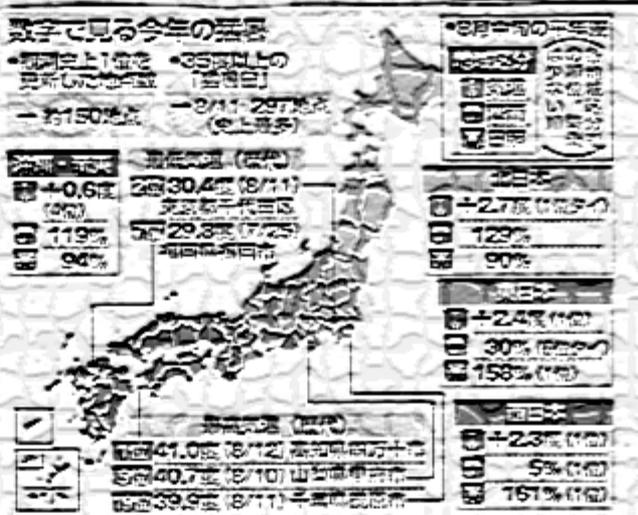
温暖化による気象の激変、人の暮らしに大きな影響を及ぼしている。その中でも、大雨の発生頻度が増えている。これは、温暖化による気象の激変が原因と見られる。温暖化により、大気中の水分が増え、大雨の発生頻度が増える。また、温暖化により、大気中の水分が増え、大雨の発生頻度が増える。温暖化により、大気中の水分が増え、大雨の発生頻度が増える。

温暖化による気象の激変、人の暮らしに大きな影響を及ぼしている。その中でも、大雨の発生頻度が増えている。これは、温暖化による気象の激変が原因と見られる。温暖化により、大気中の水分が増え、大雨の発生頻度が増える。また、温暖化により、大気中の水分が増え、大雨の発生頻度が増える。温暖化により、大気中の水分が増え、大雨の発生頻度が増える。

温暖化による気象の激変、人の暮らしに大きな影響を及ぼしている。その中でも、大雨の発生頻度が増えている。これは、温暖化による気象の激変が原因と見られる。温暖化により、大気中の水分が増え、大雨の発生頻度が増える。また、温暖化により、大気中の水分が増え、大雨の発生頻度が増える。温暖化により、大気中の水分が増え、大雨の発生頻度が増える。

8月猛暑記録すくめ

関東関東関東、甲斐信濃、四国近畿



【関東近畿】 多くの地域で、最高気温が38.5℃に達した。甲斐信濃も、最高気温が37.5℃に達した。四国近畿も、最高気温が37.0℃に達した。

【甲斐信濃】 甲斐信濃地方でも、最高気温が37.5℃に達した。長野県では、最高気温が37.5℃に達した。山梨県では、最高気温が37.5℃に達した。

【四国近畿】 四国近畿地方でも、最高気温が37.0℃に達した。高松市では、最高気温が37.0℃に達した。香川県では、最高気温が37.0℃に達した。近畿地方でも、最高気温が36.5℃に達した。大阪府では、最高気温が36.5℃に達した。京都府では、最高気温が36.5℃に達した。

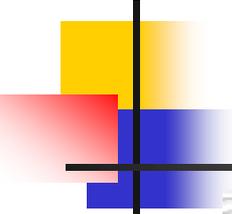
西日本 史上最も暑い8月 記録

【西日本】 西日本地方でも、最高気温が37.0℃に達した。岡山県では、最高気温が37.0℃に達した。広島県では、最高気温が37.0℃に達した。山口県では、最高気温が37.0℃に達した。徳島県では、最高気温が37.0℃に達した。香川県では、最高気温が37.0℃に達した。高松市では、最高気温が37.0℃に達した。

【近畿】 近畿地方でも、最高気温が36.5℃に達した。大阪府では、最高気温が36.5℃に達した。京都府では、最高気温が36.5℃に達した。兵庫県では、最高気温が36.5℃に達した。奈良県では、最高気温が36.5℃に達した。和歌山県では、最高気温が36.5℃に達した。

【中国】 中国地方でも、最高気温が36.0℃に達した。広島県では、最高気温が36.0℃に達した。岡山県では、最高気温が36.0℃に達した。山口県では、最高気温が36.0℃に達した。徳島県では、最高気温が36.0℃に達した。香川県では、最高気温が36.0℃に達した。高松市では、最高気温が36.0℃に達した。

【九州】 九州地方でも、最高気温が35.5℃に達した。福岡県では、最高気温が35.5℃に達した。佐賀県では、最高気温が35.5℃に達した。長門県では、最高気温が35.5℃に達した。大分県では、最高気温が35.5℃に達した。熊本県では、最高気温が35.5℃に達した。鹿児島県では、最高気温が35.5℃に達した。





データがないのでわからないで しょう？

- 「本当は、昔は、もっと暑かったかもしれない」
- 昔の気候状態は、どんなであったか？



リスクとは

- **人間社会**に不都合な状態、あるいは、それを引き起こすこと
- **ハザード、暴露、脆弱性**で決まる
 - ハザードとは、リスクを引き起こす可能性のある気象・気候現象
 - 暴露とは、人間社会と関係があるか？
 - 脆弱性とは、「備えあれば憂いなし」



リスク情報のためには

- いずれにせよ、時間的にも空間的にも細かな気象・気候情報が必要
- **それが、可能か？**
- **その信頼性は？**
- **ダウンスケーリングと台風**